

報告

# あなた 働きたい女性のための 応援講座

「働きたい」「もっと活躍したい」—そう願う女性たちに、自分らしい働き方や生き方ができるよう、応援するこの講座。講師の経験に基づいた力強く、前向きなメッセージが参加者の心に響いたようです。

第1回 11/7(土)

あなた  
20代・30代前半の女性のために  
「若い時の仕事体験が  
その後のキャリアを創る」



★講師★  
株式会社えひめリビング新聞社  
常務取締役  
小原 明美 さん

はじめに、講師の小原さんご自身の体験から仕事観について話されました。雑貨屋を営まれていたお祖母様からは「最後までやりきらなければ（商品売り切る）仕事ではない」ということを、学生時代のアルバイト経験からは「人の心の汲み方がチーム力につながる」ということを強く実感されたそうです。



続いて、「今、あなたは人生のどのパートにいるのか、何をすべきか＝自分という資本をどう運用するのか」と参加者に問いかけられました。

そのためには「ものさし」が必要。「自分のものさし」、「他人のものさし」を知ること、今よりもっと頑張ることができたり、今の自分に納得することができたりすると話されました。小原さん自身、異業種の方々と交流をすることで、自分の「ぶれないものさし」を得ることができ、今日まで前向きに頑張ってきたそうです。



自分の立ち位置を知るために、グループでこれまで自分にとって「悔しかったこと」、「体力的につらかったこと」、「最高にがんばったこと」、「精神的に辛かったこと」を話し合いました。

他人の経験（＝他人のものさし）を聞いて、参加者からは「自分を見つめ直す良い機会になった」という感想が聞かれました。

小原さんは良い人と出会うこと、そのチャンスを作るコミュニケーション力の大切さについても語られました。そうした人間力も含め、仕事での経験は自分の人生を彩ってくれと力強く話されました。また、言葉には人や心を動かす力があり、言葉を大切にすると人生も豊かになると語られました。

最後に、参加者がこの講座で心に残った言葉を発表しました。

「自分をないがしろにしない」

「子どもに働く母親の背中を見せてあげたい」

皆さん、心に響く言葉があったようです。



第2回 12/19(土)

アナタ  
30代・40代の女性のために  
「管理職・リーダーに必要な  
考え方やスキルを学ぶ」



★講師★  
独立行政法人国立女性教育会館  
理事長  
内海 房子 さん

内海房子さんは、学生時代に初めてコンピュータと出会ったそうです。それは「こんな面白いものが世の中にあったのか」というほどの衝撃的な出会いだったそうです。そして「ソフトウェア開発の仕事を一生涯の仕事にしよう」と決心。

NECに入社したものの、当時は女性のロールモデルが身近になく、とても不安に思われたことなどを当時の社会状況も交えながら話されました。



また、男女共同参画社会実現のためには「家庭生活や地域活動への男性の参加や意思決定の場への女性の参画」、「ワーク・ライフ・バランスの推進」が必要。特に、「ワーク・ライフ・バランス」は女性のためのものというイメージがあるが、男性の働き方を考えることも大切だと話されました。

さらに、「働き方改革」は女性が主導権を握ってこそできる、日本の風土を変えるには女性の力が必要であるとも話されました。

「女性の活用には、中間管理職が鍵を握る」

「迷っている女性たちの背中を押してあげてほしい」

「女性たちは、自分の力に自信を持って未知の世界に挑戦しよう！」

とメッセージを送られました。

ご自身の経験に基づいた力強いメッセージは参加者の皆さんの心に響いたようです。

最後に、「人材育成に必要な3つの“き”」、「リーダーに必要な3つの“C”」について話されました。

“3つのき”では、決めつけないでコミュニケーションをたくさん取ることの大切さ、鍛えることで自信がつくと語られました。

また、“3つのC”では特に「change」が大切と語られました。  
自分を変えないと周りの変化に乗り遅れたり、チャンスをつかまえられない、とまず自分自身が変わることの大切さを語られました。

### 人材育成に必要な3つの“き”

きめつけない

期待して

鍛える

### リーダーに必要な3つの“C”

運命の出会いを活かし  
( chance )

変化を恐れず  
( change )

果敢に挑戦  
( challenge )



講演後は、第1回講師の小原明美さんをコーディネーターに、参加者の皆さんと意見交換を行いました。

働く女性の先輩である内海さんと小原さんに、女性たちのリアルな悩みや迷いに答えていただきました。



(昇進したばかりで)これから部下にどのように接していけば良いのか・・・特に男性の部下への接し方を教えてください。



同期の男性が自分の部下になった時は、ちょっと気になった。でも彼が「男性の上司と女性の上司と、何も変わらないですね」と言ってくれたことで気が楽になった。部下は(上司である)私を通してキャリアを重ねていく。だからこそ、コミュニケーションをよく取ることが大切。

(内海さん)



男女の区別は意識したことがない。部下に「嫌われたくない」という気持ちはあるが、それではどうしようもなくなる時が来る。その時に変われば良い。その場所(立場)でしか見えない景色がある。必ずできる。大丈夫。

(小原さん)

お二人とも、自分自身がチャンスをとらえて積極的に行動すること。そして、それが自分の将来につながっていくと話されました。参加者の皆さんへの温かく力強いエールになったようです。